

令和5年度第2回高梁市総合教育会議 会議録

1. 招 集 令和6年2月26日 午後3時00分
2. 開 会 令和6年2月26日 午後3時00分
3. 閉 会 令和6年2月26日 午後4時35分
4. 会議の場所 高梁市役所4階会議室1・2
5. 出席、欠席した構成員の氏名

氏 名	出欠の別
近 藤 隆 則	出 席
小 田 幸 伸	出 席
渡 邊 あ り さ	欠 席
吉 川 昭	出 席
川 上 は る 江	出 席
西 井 道 治	出 席

6. 会議に出席した者の職氏名

職 名	氏 名	備 考
政 策 監	蛭 田 俊 幸	
政 策 監	内 田 弘 樹	
市 民 生 活 部 長	伊 丹 誠	
市 民 生 活 部 次 長	黄 江 浩	
住 も う よ 高 梁 推 進 課	斎 藤 正 憲	
健 康 福 祉 部 長	赤 木 憲 章	
こ ど も 未 来 課 長	池 田 範 子	
教 育 次 長	高 原 あ ゆ み	
教 育 委 員 会 事 務 局 参 与	福 原 洋 子	
教 育 委 員 会 事 務 局 参 与	田 村 啓 介	
教 育 総 務 課 長	藤 井 聡 美	
こ ど も 教 育 課 長	荒 田 真 一	
社 会 教 育 課 長	亀 山 智 弘	
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	野 口 和 則	
教 育 総 務 課 総 務 係 長	大 月 智 美	

7. 協議題

・ 学校園の適正配置計画策定に向けて

- (1) 再編基準と小規模特認校及び義務教育学校の特例措置の妥当性について
- (2) 通学区域について
- (3) 通学方法について
- (4) 学童保育について
- (5) 定住施策について
- (6) その他

8. 議事の概要

1 開会

2 あいさつ（市長）

本日は第2回の総合教育会議ということでまずは学校園の適正配置計画に向けて説明があると思います。

学校を取り巻く環境について、少人数の学校が維持できないというのは当然のことで、そういう状況になりたくないというのはどこの学校の思いとしてはあると思います。

現実問題として、生まれてきている子どもの数が非常に少なくなっているというのは事実であり、その中でいかにしてこれからの移住定住を進めていくのか、そして市民が市外へ転出することがないようにどう対策するかが大きな課題だろうと思っています。

その中で、移住定住については、国の方が2地点居住という政策も打ち出しをするような時期になろうと思います。

それについては、今年度から有漢地域で実施した保育園留学の拡大バージョンとっており、新年度からはこの保育園留学に加えお兄ちゃんお姉ちゃんに小学生が居る場合についても留学の受け入れを予定しています。

この街へ来てまずは住んでいただく、そしてその住むということに関しては働く場所がどう確保できるのか、またそこでの教育というのはどういう環境で学ぶのかということだと思っています。街を知っていただくことについては引き続きの交流をしっかりと重点に置きながら、これからの教育のあり方についても学校のあり方についても考えていく必要があると思うところです。

本日は忌憚ないご意見をいただいて、これからどういうふうに進めていくのか、どういうふうに向向性としてまとめていくのかということについてもお話ができればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

3 協議題

教育総務課長	別紙資料により「学校園の適正配置計画策定に向けて」を説明 (1) 再編基準と小規模特認校及び義務教育学校の特例措置の妥当性について (2) 通学区域について (3) 通学方法について
--------	--

	<p>(4) 学童保育について</p> <p>(5) 定住施策について</p> <p>(6) その他</p>
川上教育委員	<p>再編基準については納得している方が多いと思うし、個人的にも妥当だと感じている。小規模特認校、義務教育学校についても対象外にして少し様子を見るといいう意見についても、私は妥当だと思っている。</p> <p>しかし学校がなくなることは生活環境が変化してしまうために、ビックリしたとの意見がたくさんあった。意見聴取会について、市長部局の参加がなかったことについて疑問を感じている方たちもいらっしやった。そのことについて市長の意見をお伺いしたい。</p>
市長	<p>関係部署の方が聞くことも大切だったのではないかな。</p> <p>今回の意見聴取会については、学校園適正配置検討委員会から受けた報告書の内容について報告及び説明し意見を聴取するものなので、教育委員会での開催となった。詳細については今後、問題点について市長部局と教育委員会部局とで詰めて判断していくことになる。</p>
川上教育委員	<p>学校園適正配置検討委員会から報告書として提案されて、その内容について様々な意見を皆さんが言われているので、その意見を色々な部署の職員が聞いておいた方が良いのではないかという意見が出ていた。最終決定するに至っても、より良い判断をするために聞いておいた方が良いと思われる市民はたくさんいたと思う。</p>
市長	<p>例えば、通学についても今後どうするか問題になると思うが、来年度公共交通網計画で公共交通を再編し、見直しを予定している。</p> <p>通学バスについては基本的になくなる可能性が非常に高く、それを前提にスクールバスをどのように運行するかを考えると、公共交通網計画でスクールバスも一緒に検討しないといけないと思っている。</p> <p>また学童保育をどうするかなど、あらかじめ方向性を決めたいうえで、再度地域に説明に行かせていただくことが必要だと考えている。</p>
教育長	<p>意見聴取会を開催し、そこで様々な意見をいただいたが、その問題について教育委員会だけでは解決できない。その対策を考える第一歩として本日、総合教育会議を開催し、関係部署の方に参加してもらって今後解決していきたいと思っている。</p>
市長	<p>再編については必要だと思っているが、それを受けて努力をした部分については協力していきたいと考えている。市民のみなさんの不安を解消するために今後どうしていくべきか検討していきたい。</p>
西井教育委員	<p>再編基準の内容については妥当だと思う。</p> <p>意見聴取会では厳しい意見や勝手に決めてもらいたくないという意見が多かったのもう少し丁寧な説明を行っただうえで納得してもらい必要がある。子どもたちのことを一番に考えて決めていくべきであり、子どもたちのことを考えていくことが、高梁市も幸せになると思う。</p>
山縣教育委員	<p>再編基準の内容については妥当だと思うが、ビックリしたという意見が多かったので周知の仕方を考える必要はあったと感じた。</p>

住もうよ高梁推進課長	<p>また、賛成の方は会議に来られず、反対の方が来られることが多いので、厳しい意見や空気となっていると思う。保護者の多くからは、再編を進めてほしいという意見も聞いた。</p>
市民生活部次長	<p>定住対策については、小中学校を再編することによる影響がないわけではないが、それを上回るような地域性や街の魅力を生かして定住対策の推進を行っている。例えば、学校のない平川地区については、地域の受け入れ態勢が整備され移住が増加している。</p> <p>また本市では空き家バンクを活用して整備をしていくということも行っており、地域ぐるみの受け入れ体制の整備というのを重点的に、各地域に働きかけている。</p> <p>吹屋、湯野、平川等の地域では街づくりが活発に行われているので、市としてはそのような地域に注力し、今後ますますフォローしていきたいと考えている。また、まだそういった段階でない地域には積極的にアプローチを行い、移住定住の組織ができるようにしていきたいと考えている。</p>
西井教育委員	<p>公共交通については、公共空白地を作らないという意味で生活福祉バス、乗り合いタクシーを整備してきた。人口減少や利便性、特に採算性というところでは課題があり来年度、地域公共交通網計画を大きく見直す予定としている。</p> <p>今話題となっている運転手不足についても、先般の公共交通会議でも事業所の方が言われており、都市部だけでなく、高梁市でも運転手の確保というのは大きな課題になってきていると感じている。</p> <p>そういったことを解消するために国の方では、運転手不足を補うために一定の運行事業者の管理のもとで、自家用車を持っている人が車を運転して、白ナンバーでお客さんを運ぶという制度が4月からスタートする予定になっている。</p> <p>その辺りも含めこの地域にどういった活用ができるか、来年度、総合的に検討していきたいと考えている。</p>
市長	<p>意見聴取会で成羽中学校について橋が狭いなど安全面では問題ないのかという意見をいただいたので、そのほかの学校についても学校の安全面について予算等も含めて対策を考えてもらいたい。</p> <p>公共交通としてはスクールバスへの混乗も考えている。学童保育についても、再編先の学童に入るのか、居住地の学童へ行くのか今後考えていかないといけない。定住施策についても、再編とは切り離して考え、フォローしていく必要があると思っている。</p>
こども未来課長	<p>こども未来課では学童保育を担当しておりますが、現状としては、学童保育というのは小学校区の一つということで運営をしている。</p> <p>今後学校の再編に伴い、利用者の意見やニーズ、児童数をもとに検討はしていきたいと思っており、基本小学校区の一つという考え方で、子どもさんの意見等も聞きながら考えていけたらと思っている。</p> <p>先ほど市長も少し触れましたが、送迎のスクールバスについて、学童保育でも国の事業を研究していきたいと思っている。現在、保護者の送迎にかかる負担が言われていると思うので、そういったところの軽減も考えていけたらと思っている。</p> <p>また学童保育の時間延長についても意見をいただいている。</p>

教育長	<p>こちらについては、本年度、子ども・子育てに関する市民ニーズ調査を小学生の保護者の方を対象に実施しており、その中でも学童の利用や利用の時間についても項目として挙げさせてもらっている。そういったところも踏まえながら、保育時間についても検討はしていきたい。</p>
	<p>学童という名前であれば、地域の公民館などの一室を借りて居場所づくりという形は考えられると思う。どこまで出来るかは分からないが制度作りも必要だと思う。柔軟に考えることと要望を調査しデータを取っていく必要があると思っている。</p>
	<p>スクールバス等の通学方法については、お家まで迎えに行くことは難しいと考えており、混乗となると路線や乗降場所の変更は難しくなるので研究が必要となる。また、子どもに合わせてコースを変えていく必要がある場合もあり、しっかり考えていかないといけない。</p>
	<p>スクールバスも含め、統廃合により物凄く不便になるということはなくしたいと思っているが、やはりある程度の人数の中で子供がしっかりコミュニケーションの力をつけていきながら、伸びていくという環境を整えるためには、ある程度は我慢していただくことも必要だと考えており、そのバランスをどこで捉えていくかというのはしっかり研究していかないといけない。</p>
西井教育委員	<p>小学校1年生の6・7歳の子どもをスクールバスに1時間乗せて行くのかという意見もあったので、そういうことも踏まえながら検討していく必要があると思う。</p>
市長	<p>通学基準として示されている概ね1時間以内ということについて、1年生で1時間耐えられるのかなというのは確かに思うところもある。</p>
	<p>1時間をどう工夫していくかということも必要だが、高梁市の地の利としては恵まれていないので慎重に検討していかないといけない。</p>
	<p>個人的には路線を毎年変えてはいけないと思っており、混乗させるのかなど丁寧に決めていき、その上でどう走らせるのかという話になると思う。</p>
川上教育委員	<p>意見聴取会に参加して、市民の皆さんは基準に対してはそんなに反対はしてないと思うが、案が出されていくプロセスの中で、あまりにもびっくりしたという声がたくさん出ていたので、それがこれから色々なことを進めていくにあたり、リスクが大きかったなという思いで聞いていた。</p>
	<p>しかし全員協議会で議員の方に説明をされ、意見聴取会の状況報告に対しても周知徹底され、ホームページも出されるということで、そういう広報の仕方は良いと思っている。</p>
	<p>また、第4回の適正配置検討委員会も予定されており、今後十分検討できる時間もいただいたことは感謝している。</p>
	<p>市長さんが少ない予算の中でも、保育留学の拡充などの教育政策に対して予算をつけていただいていることは、私達教育委員にはよく伝わってきたので、それが伝わるような事務局側の説明もあるといいのではないかと感じている。</p>
市長	<p>地域への説明会はまだ一度必要だと考えており、最終的には市長である私が説明し理解を求めていきたい。今後どのようなやり方があるか、周知や説明について考えていきたい。</p>
教育長	<p>ここからどのようにして策定までしていくかの中で、予定通りにはいかない</p>

<p>山縣教育委員</p> <p>市長</p>	<p>思っている。</p> <p>また、地域と保護者ともう一度向き合っ話をするのは大切だと思っており、その際にはもっと具体的な案を出さないと意味がないと思う。今後庁内での調整を行い進めていく中で、公共交通等についても検討の際には、スクールバス等も加味していただきたいと思っている。</p> <p>有漢地域では子どもの居場所づくりについて公民館で検討している。</p> <p>各地区でも、自分たちで何ができるか地域で考えて盛り上がる雰囲気作りが大事だと思うので、行政が投げかけるのは難しいと思うが何かきっかけがあればと思っている。</p> <p>行政としては後押ししていきたいと思っており、今後も相談をしながら検討していきたい。</p>
-------------------------	---

4 その他

- ・育てよう！高梁っ子作戦（仮称）について＜山形方式の紹介＞（市長）

<p>教育長</p> <p>川上教育委員</p> <p>市長</p> <p>教育長</p> <p>山縣教育委員</p> <p>市長</p>	<p>山形方式について、再編の方針が決まれば活用はできると思う。</p> <p>山形方式については、地域おこし協力隊の方から聞かれ検索をしたことがある。実際にされている方に話を伺ったこともあり、高梁市のICT環境は進んでいるので、良いアイデアだと思う。</p> <p>ICTの活用の観点では、スクールバスでもオンラインを活用して時間を有意義に使えるようにできたらと思っている。</p> <p>倉敷まきび支援学校は高梁からスクールバスが出ている。障害を持った子供でも1時間ほどバスに乗って通っているので、通学についてはできないことではないと思う。</p> <p>今回の再編案では高梁北中学校が3つに分かれてしまうので、入学式を一緒にしたのに途中で離ればなれになるのは酷だと意見を聞いた。入学式を一緒に向かえた子どもたちだけでも、同じ学校に通わせて、それに対する通学の援助などを柔軟に考えてもらいたい。</p> <p>いろんなお話をさせていただきましたし、基本的に再編という方向性は変わらないと思う。過程として、市民の皆さん、それから直接保護者の皆さんたちにきちんと説明することが大事ということになると思うので、引き継ぎご協力をお願いしたい。</p>
---	---

5 閉会

- あいさつ（市長）

<p>重たい話ではありますが後ろ向きに考えてもどうにもなりませんので、前向きに考えていこうと思います。</p> <p>伊藤謙介さんが言われる、考え方と能力と情熱とのように、要は考え方をプラスにするかマイナスにするかで、その答えは変わってきてしまいます。必ず考え方をプラスに持って、これからも進めさせていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>今日はお疲れ様でございました。</p>
--